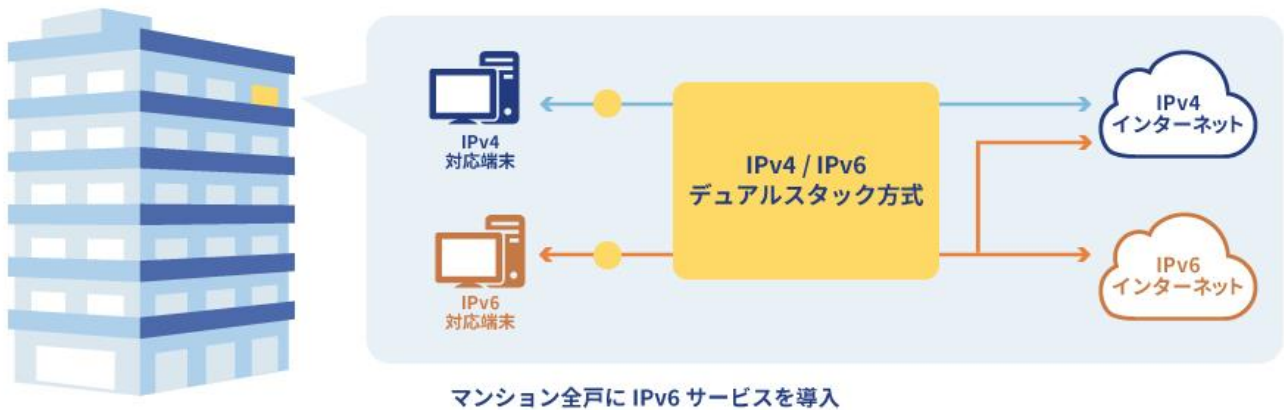


**マンション ISP 国内シェア No.1^{※1}のつなぐネットコミュニケーションズ
マンション全戸一括型インターネット接続サービスにおける IPv6 対応サービスの開発を決定
～標準サービスとしての提供を目指して～**

アルテリアグループの株式会社つなぐネットコミュニケーションズ(本社：東京都千代田区、代表取締役社長：森谷 和徳、以下：つなぐネット)は、マンション全戸一括型インターネット接続サービスにおいて、IPv6 サービスの商用化に向けた取り組みを開始します。IPv6 対応の仕組みとしてはデュアルスタック方式^{※2}を採用予定、また IPv6 対応サービスを導入するマンションでは、オプションサービスではなく標準サービスとして提供することを目指しています。

▼サービス提供イメージ



開発背景（IPv4 アドレスの枯渇問題と IPv6 の普及について）

IPv6 とは、「Internet Protocol Version 6」の略で、現在広く使われている IPv4 の後継にあたるものです。IP アドレスはインターネットに接続されている機器を識別するためのものですが、IoT 機器の世界的な普及等を背景に IPv4 アドレスの枯渇問題が課題となり、IP アドレス数がほぼ無限（ 3.4×10^{38} 乗個）となる IPv6 アドレスへの速やかな移行が求められています。

IPv4 アドレスの枯渇問題は、マンションのインターネットサービス利用者に直ちに影響を与えるものではありません。しかしながら IPv6 の利用率は右肩上がりに増加しています。



IPv6 を使って Google のサービスにアクセスしている全世界のユーザーの割合（Google、2023.3.11）

<https://www.google.com/intl/ja/ipv6/statistics.html>

シェアNo.1 事業者として開発着手

実際、既に IPv6 対応をしていない iOS アプリは審査を通過できないなど、アプリケーション側の対応も進んでいます。開発コスト等を理由に IPv6 のみに対応したアプリの増加が見込まれていることから、利用者側が IPv6 に対応していないと将来的にはサービスやアプリケーションの恩恵を受けられなくなるという事態が予測されます。つなぐネットでは、国内シェア No.1 のマンション全戸一括型 ISP 事業者として、未来を見据え、一括型インターネット接続サービスにおける IPv6 対応に取り組む次第です。

※1 MM総研「全戸一括型マンション ISP シェア調査(2022 年 3 月末)」に基づくもの

※2 「IPv4/IPv6 デュアルスタック」について：単一機器に IPv4 と IPv6 という仕様の異なるプロトコルスタックを共存させる仕組みのこと。この仕組みを利用することで、状況に応じて IPv4 または IPv6 の利用を選択できるようになる。

<株式会社つなぐネットコミュニケーションズ 会社概要>

代表者	代表取締役社長 森谷 和徳
所在地	東京都千代田区大手町二丁目 2 番 1 号 新大手町ビル
設立	2001 年 1 月 24 日
URL	https://www.tsunagunet.com/

※リリースに記載されている内容は、発表日時点の情報です。ご覧になった時点で、内容が変更になっている可能性がありますので、あらかじめご了承ください。